




取扱説明書

KCTW-12 〈クロストルクレンチ〉

このたびは「空研」製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
エアーツールを安全に使用していただくために、ご使用前に必ず本書をよくお読みになり、内容を十分にご理解の上、正しくご使用ください。

警告 : 下記項目内容を十分理解の上、本書をお読みください

■安全上の注意事項は、次の見出しを掲げております。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 **警告** : 誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

 **注意** : 誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される場合。

※「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。


- 本書はご使用される方が、いつでも利用できる場所に大切に保管し、繰返しお読みください。
- 本書および製品に貼付されている警告表示ラベルを紛失または汚損された場合は、弊社もしくはご購入の販売店を通じ、速やかにお取り寄せの上、正しく保管または貼付してください。
- 当製品を譲渡もしくは貸出される場合は、本書を必ず添付してください。


お買い上げの製品または本書の内容についてのご質問は、弊社もしくはお買い上げの販売店までお寄せください。

使用目的

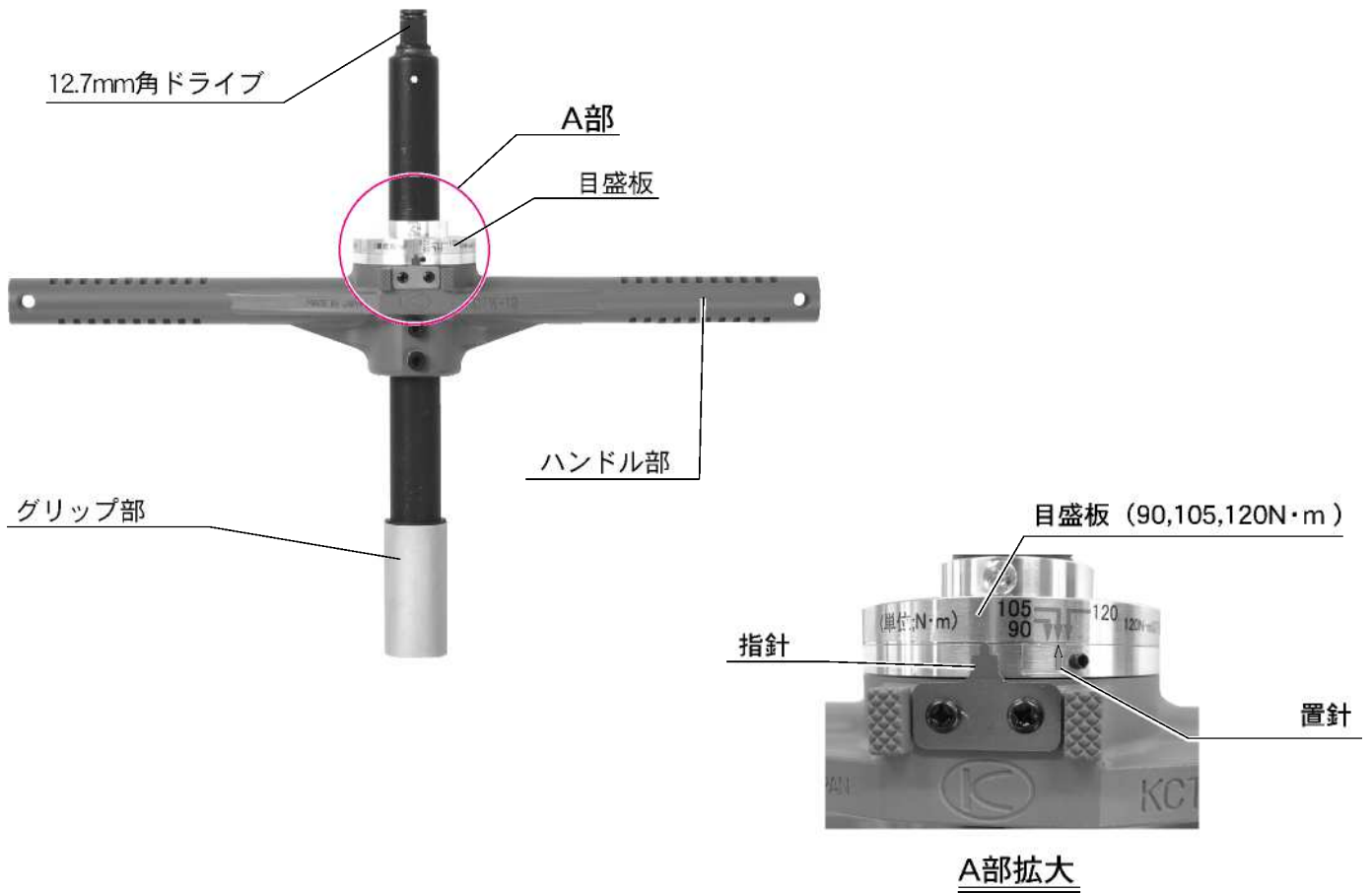
クロストルクレンチは、普通乗用車のホイールナット及びボルトの脱着作業を行うためのものです。本製品は締付け力が確認できる工具で、指針を目盛板の設定したい数値に合わせることで、自動車のホイールナット及びボルトの締付け力を簡易に確認する事ができます。

安全性に関する警告・注意事項

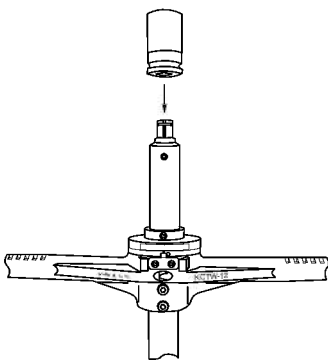
-  **警告**
- ハンドル部に油・グリス等を付着したまま使用しないでください。
締付け作業中に手が滑り、事故やけがの原因になります。確実に油分を取除いてからご使用ください。
 - 亀裂・傷・錆が発生した製品はそのままでは、使用しないでください。
破損が生じ事故やけがの原因になります。弊社にて点検や修理を受けてください。
 - 高所での締付け作業では、落下防止の処置をしてください。
本製品や先端工具（ソケット等）を落下させると、重大な事故やけがの原因になります。確実な落下防止処置をして使用してください。
 - パイプなどで、ハンドル部を長くして使用しないでください。
本製品や先端工具の破損や、精度異常の原因となりますので、この様な使用は絶対におやめください。

-  **注意**
- 本製品に手力を加える時は、弾みをつけない、体重をかけたり足で踏みつけないでください。
破損やボルトから外れて、事故やけがの原因となります。
特に、ゆるめ（左回転）作業時は、衝撃を加える使用を絶対しないでください。
 - 最大表示トルク（120N・m）を超えて使用しないでください。
精度異常の原因になるだけでなく、破損につながる事故やけがの原因になります。
 - 先端角ドライブサイズをアダプタ等にて小さくして使用しないでください。
強度不足が生じ、破損による事故やけがの原因となります。
 - 本製品の部品が外れかけていたり、欠品があるものは使用しないでください。
お買い求めの販売店、または弊社までお問い合わせの上、必ず点検や修理を受けてください。
 - 本製品を改造して使用しないでください。
改造による強度不足や精度異常が生じ、事故やけがの原因になります。
 - 本製品を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
破損や変形が生じ、精度異常や耐久性が低下し、事故やけがの原因になります。
 - いつも安全に効率よくお使いいただくために、弊社での定期点検をおすすめします。
トルク表示につきましては、3万回もしくは1年ごとの点検をおすすめします。

■各部名称

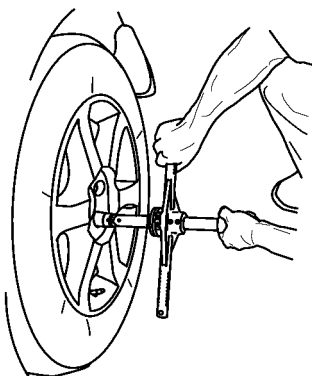


■ホイルの締め付け手順



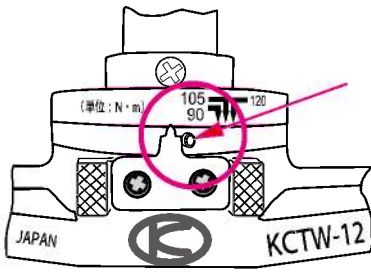
手順：1

ご使用になるソケットレンチ用ソケットを、クロストルクレンチの12.7mm角ドライブ部の根元まで確実に差込んでください。



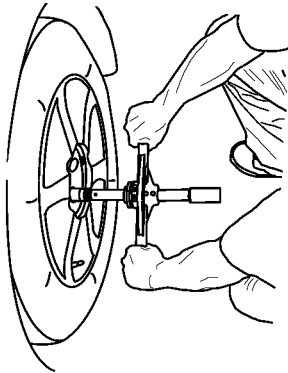
手順：2

通常の十字レンチ同様に、ホイルナット（ボルト）をホイルの座面に着座するまで仮締めを行います。



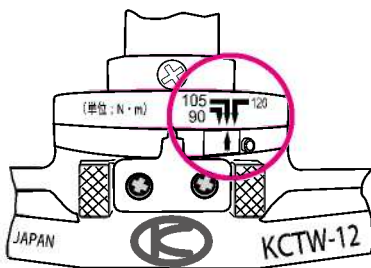
手順：3

左図のようにクロストルクレンチの置針のピンが、指針に接触しているかを確認してください。
接触していなければ、置針を回転させ指針に接触させてください。



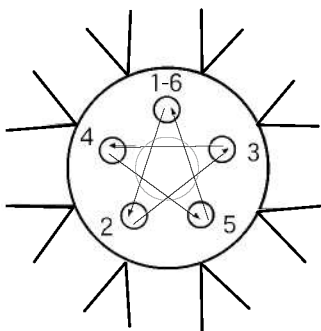
手順：4

目盛板のセットが出来ましたら、本締めを行ってください。
左図の様に順手で作業をおすすめします。



手順：5

ホイールナット（ボルト）を締付けながら、指針が目盛板の目標値に達するまで手力を加えます。
締付け完了後も置針がトルク値を示していますので、再度確認する事ができます。
(置針を利用せずに作業を行う事も可能です。その場合は作業後の確認はできません。)



手順：6

左図の順番にてホイールナット（ボルト）を締付けます。
締め始め（1番）から基本的には対角に締付けを行い。
最終は締付けのトルク値が安定しますので、締め始め（1番）を再度締付けることをお勧めします。
(5穴ホイールの例)

■仕様

機種	諸元	差込角 サイズ	能力 ボルト径	最大表示 トルク	全長 (ソケット無)	全幅 (ソケット無)	質量 (ソケット無)
		mm	mm	N・m	mm	mm	kg
KCTW-12		12.7	10~12	120	301	380	1.3

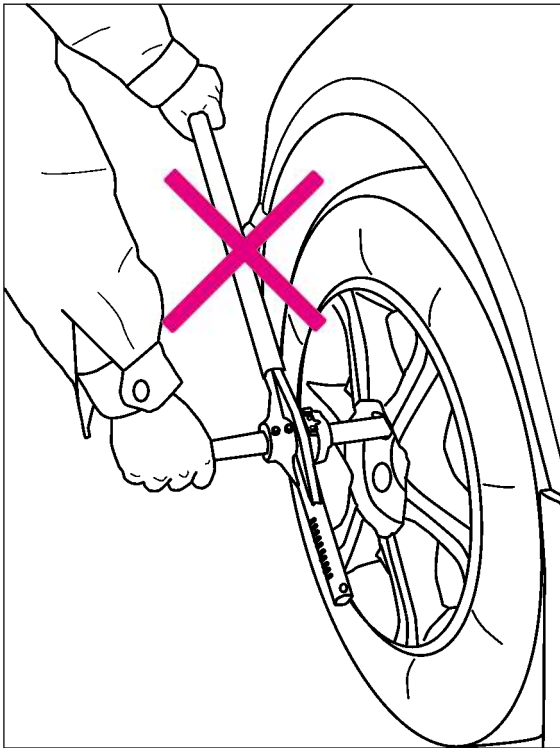
※付属品・仕様は、予告なく変更することがあります。予めご了承下さい。



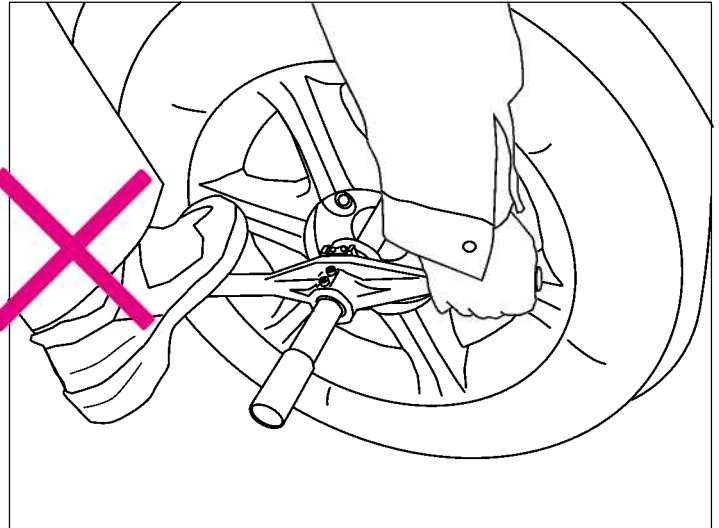
警告

下記の方法での作業は、この製品の許容範囲を超えるおそれがある為、絶対におやめ下さい。

◎パイプを使っての締め・ゆるめ作業



◎足踏みでの締め・ゆるめ作業



取扱説明書

品名：クロストルクレンチ

型式：KCTW-12

初版発行年月日 2003年 9月 1日

改訂発行年月日 2014年 7月 7日

改訂発行年月日 2016年 5月 12日

発行：株式会社 空研

お買い上げ日 年 月 日

購入販売店名

販売店電話番号 () -

製品の製造番号



株式会社 空研

〒583-0871 大阪府羽曳野市野々上3丁目6番15号

TEL.072-953-0601(代) FAX.072-953-0605

ホームページ URL <http://www.kuken.co.jp>

■営業所

札幌営業所	TEL.011-782-3111	FAX.011-783-7778	〒065-0017	札幌市東区北七条東20丁目4番18号
仙台営業所	TEL.022-786-0341	FAX.022-786-0343	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町7丁目8番7号
北関東営業所	TEL.0285-31-3772	FAX.0285-27-8080	〒323-0822	栃木県小山市駅南町6丁目20番地2号
東京営業所	TEL.03-3493-8304	FAX.03-3490-6645	〒141-0032	東京都品川区大崎3丁目1番5号203
名古屋営業所	TEL.052-962-6302	FAX.052-962-6305	〒461-0001	名古屋市中区泉1丁目9番6号2-1F
大阪営業所	TEL.072-952-0787	FAX.072-953-0605	〒583-0871	大阪府羽曳野市野々上3丁目6番15号
広島営業所	TEL.082-875-8463	FAX.082-875-8465	〒731-0137	広島市安佐南区山本1丁目6番32号
福岡営業所	TEL.092-472-1251	FAX.092-474-7350	〒812-0857	福岡市博多区西月隈1丁目14番43号
刈谷出張所	TEL.0566-62-5181	FAX.0566-62-5208	〒448-0003	愛知県刈谷市一ツ木町3丁目13番地2

〈お願い〉ご購入の際、ご面倒ですが上記該当欄にご記入ください。

無断複写・掲載を禁ず

160421_KCTW-12